

## 令和元年度 第2回 岐阜県立池田高等学校活性化協議会 議事要旨

日 時	令和2年1月30日(木) 13:30~15:30
場 所	池田高等学校 会議室
出席者 (敬称略)	飯田 静世 神戸町子育てボランティア団体代表 伊藤 敦 神戸町立神戸中学校長 宇野 秀宣 神戸町教育長 岡崎 和夫 池田町長 国枝慎太郎 岐阜県議会議員 国枝磨須美 池田町教育長 小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長 仲井 智一 池田町立池田中学校長 西川 菊雄 池田町上田区長 野原 恵子 元池田高等学校育友会役員 平工 周司 岐阜県立池田高等学校育友会副会長  松井 千昭 池田高等学校長 菅井 修 教育総務課課長補佐
議事概要	1. 学校長 挨拶 2. 教育総務課 挨拶 3. 今年度の取組説明(校長) 4. 先進校視察報告(伊藤) 5. 生徒発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育プログラム紹介</li> <li>・池田未来会議スタートアップカフェ紹介</li> <li>・池本作り紹介</li> <li>・ボランティア紹介</li> </ul> 6. 意見交換 テーマ:「地域と連携し活力ある池田高校にするための取組について」 (3年間の成果と課題) ① 当初の活性化協議会は、どのようにして池田高校を活力ある学校にしていくかがテーマであったが、それから進み、本日の発表は地域との交流、課外学習、池田町との取組み等、素晴らしい発表であった。池田町の政策の中に池田高校との取組みが反映されるようになれば、いずれはこの町に戻ってきたいという学生も増えるのではないかと。これからは池田高校も国連が採択したSDGsの17項目の内の何れかをグローバルな視点で課題計画の中に取組むことで、2030年に向けての池田高校の発信材料になるのではないかと。 ② 3年間の成果を拝見し、大変よくなったと感じている。若い方の視点は大切に、未来会議のワークショップへの一般参加者が、高校生は考え方の視点が我々とは全く異なるため会議には高校生に入ってもらふ必要があるとおっしゃっていた。『池本』は池女会の中に若い女性と池田高生に入ってもらい、新しい町の政策PRを行っている。色々なイベント会場で池田高校の参加者だと分かるようにすれば、より地域の参加者との繋がりを育むことができ、地域連携へと繋がっていき

くのではないか。4月以降、政策を提案していく中で、池田高生の意見を聞く場を設けたいと考えている。

- ③ 若い世代が地域に入り、地域の人々と一緒に街づくりをして下さることに感謝している。池田高校の生徒には様々な活動において活躍していただいている。毎年同じことを繰り返し蓄積することが大切という発表があったが、それによって「池田高校の生徒は誠実で真面目に向かい合っていける生徒である」といった印象が地域に築かれていく。池田高生は、ハリヨ池の保護活動、福祉活動、芸術文化活動等、様々なところで活躍している。新しいお菓子の銘々も高校生の新しい意欲的な視点で、若者が好むような名前を付けてくれた。これからも町と協力して一緒に活躍していただけるとありがたい。
- ④ 昨年の11月3日、神戸町の文化祭において池田高校書道部によるパフォーマンスを行っていただきお礼を言いたい。その作品は中央公民館大ホール前で現在も展示している。神戸町でも池田高校の生徒には、デイサービスセンターや図書館マルシェを始めとする様々なボランティア活動において活躍していただいている。これからも神戸町の色々なイベントにボランティアとして協力いただくとありがたい。町立図書館が校区の直ぐ近くにあるので、インターンシップとして図書館司書の業務を体験していただくことも可能なので、希望者がいれば是非参加を願いたい。また逆に図書館を学習の場として活用していただければとも考えている。これからも池田高校の生徒との繋がりを深めていきたい。
- ⑤ 今年から参加させていただいており、今回が2回目となる。色々な事例の発表を拝見すると、その取組みが池田高校だけではなく、連携させていただいている池田中学校の教育活動の充実にも繋がっていると感じる。演劇部の発表、池田高校職員による出前授業、進路説明等は池田中学校の活性化の材料となっており感謝したい。小中高の機関と連携を図ることで、学校が地域の誇りへと繋がっていくので色々と参考にさせていただきたい。
- ⑥ 中学生は、中学校からボランティア活動にデビューすることが多いと考えられる。生徒を見ていると、学年が上がることでより心のこもった活動ができていると感じる。それが高校生でも引き継がれていることを知り、その土台を中学校で作っていく大切さを痛感した。選挙権が18歳からということもあり、色々な側面で生徒を鍛えていく必要がある時代において、池田高校がしっかりとした方針を持って取り組んでいることが、よりよい町づくりに繋がっている。
- ⑦ 学校全体でボランティア活動に積極的に参加していただけるようになった。以前は、高校までボランティアをお願いに来ていたが、現在は行政の町づくり戦略課から依頼の連絡をするだけでボランティア活動に参加していただける形になっている。池田高校の生徒を大切に育てる役割を地域が果たせるとよい。
- ⑧ 地域での様々な取組に成果が現れており、素晴らしいことである。進路に関しては、女子生徒の割合が増加したことで看護・福祉を希望する生徒が増えていると伺った。地域を活性化するためにも地域医療は重要で、その中でも看護は大切であるが、リハビリや介護も欠かせない。自己決定ができる生徒を育成することが大切であり、そのような人材を育成する学校として地域を支えていきたい。
- ⑨ 資料を拝見すると池田町や神戸町と比べて大野町へのボランティア活動の参加が見当たらないので、是非参加していただけるとありがたい。それが池田高校のPRに繋がるのではないか。
- ⑩ 高校の先生方が大変熱心に学校や生徒達をよくしようと努力していることが分かった。生徒の発表を拝見し、様々な人達との出会いを通して、学校や部活動で

は学べないことを得ていることが素晴らしいと感じた。また、生徒たちが人前で自分の意見を述べ、まとめ、話すことは非常によい体験だと思う。町のPR誌の編集を生徒が担当していると聞いたが、自分の意見を述べたり、まとめたりすることは勇気のいる大変な作業だったと推測する。生徒にそういった活躍の場があることは素晴らしいと感じ、年齢を越えて繋がっていくことが大切なので、これからも続けられるとよい。

- ⑩ 育友会で色々な学校行事に参加させていただき、我々が高校生の際は保護者が学校で活躍する機会は少なかったが、現在は版画大会の豚汁サービスや文化祭のバザー出店など、学校全体の盛り上がりへ寄与できてありがたいと感じている。昔の高校は勉強するだけであったが、保護者が子どもと共に学校全体で盛り上がる行事を設定していただけることはよい時代になったという印象を受ける。生徒数が減っても、生徒の活力につながるのこのような行事は是非継続していただきたい。

#### 7. 教育総務課講評

活性化を進めていく中で、生徒が探求することを通じで成功体験を収め、自信を付けていく。それにより地域に戻って貢献したいという気持ちが芽生えてくる。岐阜県の教育においては「探求」を掲げており、生徒が自分で何が解決できるのか、地域をフィールドにして解決する中で自分がどう貢献できるのかを考えさせたい。池田町の政策において、高校生の意見を反映させていただけることをお聞きし、生徒の自信につながると思う。地域の方々の協力も必要となるので、学校活性化と合わせて、地域の活性化に向けても高校生に対する場の提供をお願いしたい。

#### 8. 学校長挨拶

学校が活性化することは、生徒自身が活性していくことを意味する。各生徒が様々な体験を通して、達成感や成就感を味わい、自信をもって活躍の場を広げていくことになる。そのような場を学校として、地域として是非生徒たちに与えていただきたいと思う。皆様からご意見をいただき、地域全体として発展していきたいと考えている。年度末に向けて様々な行事があるので是非ご支援をお願いしたい。